

呼吸器外科

八千代医療センター呼吸器外科研修の特色は、地域医療においてたびたび遭遇する呼吸器外科疾患（肺がん、気胸、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍、胸水貯留、呼吸器感染性疾患）全般を対象とし、実践を通してその知識・技能を習得することにあります。

初期研修であっても積極的に手技を習得し、将来役に立つ経験と技術力を身につけることを目指しています。具体的には、気胸や胸部外傷患者に対する緊急対応、胸腔ドレナージ、呼吸器外科に関連する疾患全般にわたる画像診断、検査から治療への計画立案、気管支鏡検査や簡単な手術手技の実践、術後管理（全身管理、特に循環・呼吸管理）等の習得です。

八千代医療センター呼吸器外科の特色

・年間の新規入院患者数は 300-350 例程度、手術患者数は 150-170 例で、主な手術は、気胸 30 例、肺がん 90 例前後です。

・肺がん診療においては、診断から治療（手術、化学療法）、緩和ケアまで、死亡原因として非常に高い肺がんに対する知識および癌患者に対する包括的な対応を学ぶことが可能です。

- ① 気管支鏡検査：通常の気管支鏡検査に加えて、リンパ節転移評価としての超音波気管支鏡検査を積極的に行っております。
- ② 手術：胸腔鏡下手術を主に、開胸手術も行っております。
特に蛍光内視鏡を用いた低侵襲手術（肺縮小手術）を積極的に行っております。
[東京女子医科大学八千代医療センター | 呼吸器外科 \(twmu.ac.jp\)](http://twmu.ac.jp)
- ③ 化学療法：細胞傷害性抗癌薬、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬と最新かつ最適な治療を提供できるよう心がけております。
- ④ 緩和ケア：院内他職種の協力のもと、最適な終末期の対応ができるよう心がけております。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
午前	手術	病棟	手術	病棟	病棟	病棟
午後	手術	気管支鏡検査 多職種カンファ アレンス	手術 手術カンファ レンス	気管支鏡検査 多職種カンファ アレンス	病棟 (手術)	